

令和7年度保険者介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)評価指標に係る該当状況調査票

(記載要領)

- ※1 桃色の欄を記入して下さい。(保険者機能強化推進交付金、介護保険保険者努力支援交付金交付金で調査票シートが分かれていますので、両方のシートを記入して下さい。)
- ※2 「回答欄」については、各評価指標の留意点等を踏まえ、該当する場合は○、該当しない場合は×を、プルダウンから選択して下さい。
- ※3 「記載欄」については、「記載事項・提出資料」欄に記載する内容を踏まえ、各指標に該当すると判断するに至った根拠を記載して下さい。記載欄が不足する場合は、「資料○のとおり」などとした上、適宜、別添の提出資料に記載して下さい。
- ※4 「提出資料」欄については、各評価項目と提出資料との関連が明らかとなるよう、適宜付番の上、「資料○参照」等と記載して下さい。
- ※5 青色の欄は自動計算されるため、記入しないで下さい。
- ※6 灰色の網掛けの指標は、厚生労働省算定項目であり、回答は不要です。

(都道府県名)	北海道
(市町村名)	石狩市
(担当課・係・氏名)	高齢者支援課 介護・高齢担当 松木 有紀
(メールアドレス)	koureisyas@city.ishikari.hokkaido.jp
(電話番号)	0133-72-6121

目標 I 介護予防/日常生活支援を推進する(配点100点)

25 点

(i) 体制・取組指標群(配点52点)

指標	時点	回答欄	昨年度結果	得点	記載事項・提出資料	記載欄	提出資料	記載欄、提出資料欄チェック	アラート
1 介護予防・生活支援サービス・一般介護予防事業の実施に当たって、データを活用して課題の把握を行っているか。  ※ウに該当する場合はア又はイのいずれかに、エに該当する場合はウに該当していることが望ましい	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	○	1 点	ア～ウについては、使用したデータ及び取組内容の概要を記載。 ウについては、外部からの意見を聞いている場合にはその名称を記載。 エについては、何の施策にどのような反映を行ったのか概要を記載。	ア 介護予防教室参加者について、要介護認定の調査票や主治医意見書、ケアプランの情報を収集し、状態像のアセスメントに活用している。			
	イ K D B や見える化システム等既存のデータベースやシステムを活用している	×	×	0 点					
	ウ 毎年度、ア又はイのデータを活用して課題の分析・共有を行っている	×	×	0 点					
	エ データに基づく課題分析等の結果を施策の改善・見直し等に活用している	×	×	0 点					
2 通いの場やボランティア活動その他の介護予防に資する取組の推進を図るため、アウトリーチ等の取組を実施しているか。  ※ア→イ→ウ→エの順で該当していることが望ましい	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	○	1 点	アについては、課題把握・分析の概要を記載。 イについては、取組内容(手法や規模、整理しているデータ内容等)を記載。 ウについては、①～④ごとに、取組内容を記載。 エについては、成果分析の結果、取組の改善・見直しの内容又はそれらを行うプロセスの概要を記載。	ア 生活支援コーディネーターの連絡会議にて通いの場の再開、継続したつながりの維持の方策など課題検討を実施。 イ 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所が支援している通いの場に参加していない対象者について、健康状態や生活状況、介護サービスの利用状況等を把握、分析している。 ウ① 地域包括支援センターが総合的に判断し、通いの場等への参加を居宅の訪問時等に促している。			
	ア 通いの場への参加促進を図るための課題を把握・分析している	○	○	2 点					
	イ 通いの場に参加していない者の健康状態や生活状況、医療や介護サービスの利用状況等を定量的に把握し、データとして整理・分析している	○	○	1 点					
	ウ ア及びイを踏まえ、通いの場を含む介護予防に資する取組に対して、次のような具体的なアプローチを行っている	×	×	0 点					
	① 通いの場に参加していない者の居宅等へのアウトリーチに関する取組	○	○	0 点					
	② 医療機関等が通いの場等への参加を促す仕組みの構築	×	×	0 点					
③ 介護予防に資する取組やボランティアへの参加に対するポイント付与の実施	×	×	0 点						
④ ③のポイント事業参加者の健康状態等のデータベース化	×	×	0 点						
エ 毎年度、ウの取組の成果を分析し、取組の改善・見直し等を行っている	×	×	0 点						

3	介護予防等と保健事業を一体的に実施しているか。  ※イに該当する場合はアに、エに該当する場合はアからウまでのいずれかに該当していることが望ましい	ア 通いの場における健康チェックや栄養指導・口腔ケア等を実施している	2024年度実施(予定を含む)の状況の評価	○	×	1点	○ ア、イ、ウについては、取組内容や仕組みの概要を記載。 ○ エについては、成果分析の結果、取組の改善・見直しの内容又はそれらを行うプロセスの概要を記載。	・後期高齢者健診の質問票などを用いてフレイル状態を把握する(低栄養やオラフレイルを含む) ・対象者の状態に応じた健康教育・健康相談を実施する。 ・必要者に健康診査や医療の受診勧奨や介護サービスの利用を勧奨する。 ・上記内容を圏域ごとに実施する(3圏域) ・実施予定数172回 参加予定者数(延)1467人			
		イ 通いの場での健康チェック等の結果を踏まえて医療機関等による早期介入(個別支援)につなげる仕組みを構築している		×	×	0点					
		ウ 現役世代の生活習慣病対策と、介護予防とが連携した取組を実施している		×	×	0点					
		エ 毎年度、一体的実施の成果を分析し、取組の改善・見直し等を行っている		×	×	0点					
4	通いの場の参加者の健康状態等の把握・分析により、介護予防・生活支援サービス・一般介護予防事業の内容等の検討を行っているか。  ※ア→イ→オの順で該当していることが望ましい	ア 通いの場の参加者の健康状態等を継続的・定量的に把握する体制が整っている	2024年度実施(予定を含む)の状況の評価	○	○	1点	○ アについては、体制の概要を記載。 ○ イについては、取組内容(手法や規模、整理しているデータ内容等)を記載。 ○ ウについては、外部関係者の名称を記載。 ○ エについては、参加者の意見の概要を記載。 ○ オについては、活用状況を記載。	ア 年数回の体力測定や毎回の血圧測定を実施			
		イ 毎年度、経年的な評価や分析等を行っている		×	×	0点					
		ウ 行政以外の外部の関係者の意見を取り入れている		×	×	0点					
		エ 通いの場の参加者の意見を取り入れている		×		0点					
		オ 分析結果等をサービス内容の充実等に活用している		×	×	0点					
5	地域におけるリハビリテーションの推進に向けた具体的な取組を行っているか。  ※ウに該当する場合はイに該当していることが望ましい	ア 国が示すリハビリテーションサービス提供体制に関する指標を現状把握や施策の検討に活用し、リハビリテーションに関する目標を市町村介護保険事業計画に設定している	2024年度実施(予定を含む)の状況の評価	×	×	0点	○ アについては、国が示すリハビリテーションサービス提供体制に関する指標の活用方法を記載するとともに、介護保険事業計画における該当部分を添付。 ○ イについては、仕組みの概要を記載。 ○ ウについては、協議の場の活用状況を記載。 ○ エについては、成果分析の結果、取組の改善・見直しの内容又はそれらを行うプロセスの概要を記載。	イ 北海道リハビリテーション専門職協会と連携し、専門職の派遣調整を行う体制を構築している。 ウ 上記の調整後、自立支援型の地域ケア会議や通いの場にリハビリテーション職が参加している。			
		イ 郡市区医師会等の関係団体と連携して協議の場を設置し、介護予防の場や介護事業所にリハビリテーション専門職等が関与する仕組みを設けている		○	○	2点					
		ウ リハビリテーション専門職を含む医療専門職を介護予防の場や地域ケア会議等に安定的に派遣するための具体的な内容を議論するなど、イの協議の場を活用している		○	○	2点					
		エ 毎年度、取組内容の成果を分析し、改善・見直し等を行い、公表している		×	×	0点					

6	生活支援コーディネーターの活動等により、地域のニーズを踏まえた介護予防・生活支援の体制が確保されているか。  ※ア～イ・ウ～エの順で該当していることが望ましい	ア 地域における介護予防・生活支援サービス等の提供状況、地域資源、利用者数の推移、心身及び生活状況の傾向、高齢者の地域の担い手としての参画状況等を把握し、データとして整理している	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	○	1点	アについては、整理しているデータ内容を記載。 イについては、説明した相手方、説明の内容、説明日時を記載。 ウについては、地域課題の分析・評価結果の概要を記載。 エについては、推進方策の概要を記載。 オについては、改善・見直し又はそれらを行うプロセスの概要を記載。	ア 機能訓練事業の参加人数、自治会等による生活支援の件数 イ 介護保険運営推進協議会において報告している。 ウ 介護人材の不足により介護サービス提供の困難さがあるが、それにより地域住民による生活支援の検討につながっている。医療介入の困難さからケアマネジャー向け研修会を実施予定。 エ 地域にある社会資源の掘り起こし、足りない資源の創出、生活支援の担い手養成など資源の強化、地域のネットワークづくり、ニーズとサービスのマッチングを行う。介護保険運営推進協議会において周知している。 オ 高齢者福祉計画、介護保険計画において見直し、市HPや介護保険運営推進協議会において周知している。			
		イ アで整理したデータを、地域住民や関係団体等に提供・説明している		○	○	2点					
		ウ アで整理したデータを踏まえ、生活支援コーディネーターとともに、協議体を活用しながら、地域の課題を分析・評価している		○	○	2点					
		エ ウの分析・評価を踏まえ、市町村として、介護予防・生活支援サービスの推進方策を策定し、関係者に周知している		○	○	2点					
		オ エで策定した市町村としての推進方策を定期的に見直し、関係者に周知する仕組みがある		○	○	2点					

7	多様なサービスの活用の推進に向け、実施状況の調査・分析・評価を行っているか。  ※ア～イウ～エオカの順で該当していることが望ましい	ア 介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況、地域資源、利用者数の推移、心身及び生活状況の傾向のほか、現状では対応が困難な地域の困り事等を把握し、データとして整理している	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	○	1点	アについては、整理しているデータ内容を記載。 イについては、意見を取り入れる仕組みの概要を記載。 ウについては、地域課題の分析・評価結果の概要を記載。 エについては、推進方策の概要を記載。 オについては、対象者モデルの内容や取組を評価する仕組みの概要を記載。 カについては、改善・見直し又はそれらを行うプロセスの概要を記載。	ア 訪問型サービス、通所型サービスの件数、地域資源の利用状況 イ 多様なサービスの情報提供に留まり利用者の意見を取り入れるまでは至ってない。 ウ 地域包括支援センターや生活支援コーディネーター等が地域資源の情報提供やマッチングを効果的に進めることができるよう連携体制を整える。 エ 高齢者福祉計画、介護保険計画において見直し、市HPや介護保険運営推進協議会において周知している。 カ イ、オの取り組みは行っていないが、高齢者福祉計画、介護保険計画において施策を見直し、市HPや介護保険運営推進協議会において周知している。			
		イ 介護予防・日常生活支援総合事業の利用者等の意見を取り入れる仕組みを整えている		×		0点					
		ウ アで整理したデータ又はイの意見を踏まえ、多様なサービスの推進に向け、地域の課題を分析・評価・共有している		○	○	1点					
		エ ウの分析・評価を踏まえ、多様なサービスの推進に向け、市町村としての推進方策を策定し、関係者に周知している		○	○	1点					
		オ エの推進方策の策定にあたり、多様なサービスの対象者モデルの提示や、第一号介護予防支援事業における目標指向型のケアマネジメントの取組を評価する仕組みを整えている		×		0点					
		カ ア～オのプロセスを踏まえ、エで策定した市町村としての推進方策を定期的に改善・見直し等を行う仕組みがある		○	○	2点					

(ii) 活動指標群 (配点48点)

1	高齢者人口当たりの地域包括支援センターに配置される3職種の数	ア 上位7割	2023年度実績を評価								
		イ 上位5割									
		ウ 上位3割									
		エ 上位1割									
2	地域包括支援センター事業評価の達成状況	ア 家族介護者支援を含む総合相談支援・権利擁護業務	2023年度実績を評価								
											① 上位7割
											② 上位5割
											③ 上位3割
		イ 介護予防の推進・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務・事業間連携に関する業務									① 上位7割
											② 上位5割
											③ 上位3割
											④ 上位1割
		ウ 地域ケア会議に関する業務									① 上位7割
											② 上位5割
											③ 上位3割
											④ 上位1割
3	地域ケア会議における個別事例の検討割合(個別事例の検討件数/受給者数)	ア 上位7割	2023年度実績を評価				○ 右欄に2023年度における地域ケア会議において検討された個別事例の延べ件数を記載。	個別事例の述べ件数を記載。※単位の記載は不要	30		
		イ 上位5割									
		ウ 上位3割									
		エ 上位1割									
4	通いの場への65歳以上高齢者の参加率	ア 週一回以上の通いの場への参加率	2023年度実績を評価								
											① 上位7割
											② 上位5割
											③ 上位3割
		イ 週一回以上の通いの場への参加率の変化率									① 上位7割
											② 上位5割
											③ 上位3割
											④ 上位1割



目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する(配点100点)

44 点

(i) 体制・取組指標群(配点64点)

指 標		時点	回答欄	昨年度結果	得点	記載事項・提出資料	記載欄	提出資料	記載欄、提出資料欄チェック	アラート
1	認知症サポーター等を活用した地域支援体制の構築及び社会参加支援を行っているか。	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	○	5 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>アについては、取組内容の概要を記載。</li> <li>イについては、要綱等の概要を記載。</li> <li>ウについては、活動グループによる活動内容の概要を記載。</li> <li>エについては、マッチングの概要(実施頻度、手法等)を記載。</li> <li>オについては、認知症の人の当事者参画の取組内容の概要を記載。</li> </ul>	ア 本人ミーティングに向けて本人へのインタビューと認知症カフェを実施している。 イ 生活保護受給者、低所得者、中国残留孤児を対象としている。 ウ 認知症カフェ運営サポート、認知症の方のボランティア活動 エ 専任認知症地域支援推進員が地域包括支援センターと連携し、ニーズに合わせて認知症サポーター養成講座受講後の登録者と地域とを繋いでいる。 オ チームが認知症の人の意思を尊重し、本人が野外作業、飲食店運営等に携わるイベントに参画するようチーム全体で支援している。	支援Ⅱ(i)①		
	イ 成年後見制度利用支援事業に関し、対象を市町村長申立や生活保護受給者に限定しない要綱等を整備している	○	○	5 点	支援Ⅱ(i)②					
	ウ 認知症サポーター等による支援チーム等の活動グループ(チームオレンジなど)を設置している	○	○	5 点						
	エ 認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につながるよう、ウによる活動グループを含む地域の担い手とのマッチングを行っている	○	○	5 点						
	オ 認知症の人が希望に応じて農業、商品の製造・販売、食堂の運営、地域活動やマルシェの開催等に参画できるよう、支援している	○	○	5 点						
2	認知症状のある人に対して、専門医療機関との連携により、早期診断・早期対応に繋げるための体制を構築しているか。	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	○	4 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>アについては、周知内容の概要を記載。</li> <li>イについては、連携した取組の概要を簡潔に記載。</li> <li>ウについては、連携ルールの概要を記載。</li> <li>エについては、医療・介護専門職による早期対応や早期診断の取組の概要を記載。</li> </ul>	ア 認知症に対応できる医療機関について、市民向けリーフレットを作成し周知している。 イ 認知症(疑い含む)の人の支援について、地域ケア会議等で連携体制を構築している。 ウ 対象者ごとに、電話、メール、チャット等の連絡連携ツールを地域ケア会議等で決めている。 エ 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所が細やかなケアマネジメントを行い、早期対応、早期診断に結び付けるようにしている。	支援Ⅱ(i)③		
	イ 認知症に関わる医療機関と連携した取組を行っている	○	○	5 点						
	ウ 情報連携ツール等を活用して、関係者間で連携ルールの策定している	○	○	5 点						
	エ アからウまでを踏まえ、医療・介護専門職による早期対応や早期診断に繋げる体制づくりを構築した上で、運用している	○	○	5 点						
3	難聴高齢者の早期発見・早期介入に係る取組を行っているか。	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	×		0 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア及びイについては、取組内容の概要を記載。</li> <li>ウについては、把握している受診状況及び未受診者への再度の受診勧奨の実施状況について概要を記載。</li> <li>エについては、受診勧奨者のうち受診した者の割合を記載。</li> </ul>				
	※ア→イ→ウ→エの順で該当していることが望ましい		×		0 点					
	イ 早期発見の取組を行っているか	×		0 点						
	ウ 受診状況の把握と未受診者への再度の受診勧奨を行っているか	×		0 点						
エ 受診勧奨者のうち50%以上の者が受診しているか	×		0 点							

(ii) 活動指標群(配点36点)

1	高齢者人口当たりの認知症サポーター数	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	/	/				
		イ 上位5割								
		ウ 上位3割								
		エ 上位1割								
2	高齢者人口当たりの認知症サポーターステップアップ講座修了者数	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	/	/				
		イ 上位5割								
		ウ 上位3割								
		エ 上位1割								
3	認知症地域支援推進員が行っている業務の状況	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	/	/				
		イ 上位5割								
		ウ 上位3割								
		エ 上位1割								

目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する(配点100点)

11 点

(i)体制・取組指標群(配点68点)

指 標		時点	回答欄	昨年度結果	得点	記載事項・提出資料	記載欄	提出資料	記載欄、提出資料欄チェック	アラート
1	地域の医療・介護関係者等が参画する会議において、市町村が所持するデータ等に基づき、在宅医療・介護連携に関する課題を検討し、対応策が具体化されているか。	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	×	×	0 点	○ ア及びイについては、第9期計画における在宅医療・介護連携に該当する部分等関係文書を添付。 ○ ウについては、把握している情報の概要を記載。 ○ エについては、目標の設定、具体化された対応策の概要を記載。 ○ オについては、検証や見直しを行う仕組みの概要を記載。	医師会との連携体制が整っていない			
	※エに該当する場合、ア及びウに該当していることが望ましい		○	×	6 点					
	イ 在宅医療と介護の提供体制の目指すべき姿を介護保険事業計画に記載している		×	×	0 点					
	ウ 地域の人口推計を踏まえた今後のニーズや医療・介護資源、社会資源や利用者の情報、住民の意向等を定量的な情報も含めて把握している		×	×	0 点					
	エ アとウの差の確認等により抽出された課題を踏まえ、地域の特性を踏まえた目標の設定、具体的な対応策を立案している		×	×	0 点					
オ 評価指標等に基づき事業の検証や必要に応じた見直しを行う仕組みを設けている	×	×	0 点							
2	在宅医療と介護の連携の強化・推進に向け、相談支援、研修会の開催といった具体的な取組を行っているか。	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	○	5 点	○ アについては、把握しているニーズの概要を記載。 ○ イについては、①～③ごとに取組の概要を記載。 ○ ウについては、課題分析の結果の概要を記載。 ○ エについては、改善・見直し又はそれらを行うプロセスの概要を記載。	ア 地域包括支援センターが介護事業所、医療機関、薬局等を訪問することにより、ニーズを開き取り把握している。			
	※ア～イ～ウ～エの順で該当していることが望ましい。		×	×	0 点					
	イ 医療・介護関係者のニーズを踏まえ、次のような取組を実施している。		×	×	0 点					
	① 医療・介護関係者に対する相談窓口の設置		×	×	0 点					
	② 定期的な相談内容等の取りまとめ、その結果の医療・介護関係者間での共有		×	×	0 点					
ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている	×	×	0 点							
エ 毎年度、課題分析や医療・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて取組の改善・見直し等を行っている	×	×	0 点							
3	患者・利用者の状態の変化等に応じて、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が実施できるよう、具体的な取組を行っているか。	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	×	×	0 点	○ アについては、情報共有の実施状況の概要を記載。 ○ イについては、取組内容(情報連携を行う手段、その実施頻度)の概要を記載。 ○ ウについては、課題分析の結果の概要を記載。 ○ エについては、改善・見直し又はそれらを行うプロセスの概要を記載。	医師会との連携体制が整っていない			
	※ア～イ～ウ～エの順で該当していることが望ましい。		×	×	0 点					
	イ 実施状況等を踏まえ、在宅での看取りや入退院時等に活用できるような医療・介護関係者の情報共有ツールの作成等情報共有円滑化のための取組を実施している		×	×	0 点					
	ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている		×	×	0 点					
エ 毎年度、課題分析や医療・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて情報共有ツール等の改善・見直し等を行っている	×	×	0 点							



目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む(配点100点)

成果指標群

指 標		時点	回答欄	昨年度結果	得点	記載事項・提出資料	記載欄	提出資料	記載欄、提出資料欄チェック	アラート
1	軽度【要介護1・2】 (平均要介護度の変化Ⅰ) 短期的な平均要介護度の変化率の状況 はどのようになっているか。	ア 変化率の状況	① 全保険者の上位7割	(ア) 2023年1月→2024年1月の 変化率  (イ) 2023年1月→2024年1月と、 2022年1月→2023年1月の 変化率の差						
			② 全保険者の上位5割							
			③ 全保険者の上位3割							
			④ 全保険者の上位1割							
	イ 変化率の差	① 全保険者の上位7割								
		② 全保険者の上位5割								
		③ 全保険者の上位3割								
		④ 全保険者の上位1割								
2	軽度【要介護1・2】 (平均要介護度の変化Ⅱ) 長期的な平均要介護度の変化率の状況 はどのようになっているか。	ア 全保険者の上位7割	2020年1月→2024年1月の 変化率							
		イ 全保険者の上位5割								
		ウ 全保険者の上位3割								
		エ 全保険者の上位1割								
3	中重度【要介護3～5】 (平均要介護度の変化Ⅰ) 短期的な平均要介護度の変化率の状況 はどのようになっているか。	ア 変化率の状況	① 全保険者の上位7割	(ア) 2023年1月→2024年1月の 変化率  (イ) 2023年1月→2024年1月と、 2022年1月→2023年1月の 変化率の差						
			② 全保険者の上位5割							
			③ 全保険者の上位3割							
			④ 全保険者の上位1割							
	イ 変化率の差	① 全保険者の上位7割								
		② 全保険者の上位5割								
		③ 全保険者の上位3割								
		④ 全保険者の上位1割								
4	中重度【要介護3～5】 (平均要介護度の変化Ⅱ) 長期的な平均要介護度の変化率の状況 はどのようになっているか。	ア 全保険者の上位7割	2020年1月→2024年1月の 変化率							
		イ 全保険者の上位5割								
		ウ 全保険者の上位3割								
		エ 全保険者の上位1割								
5	健康寿命延伸の実現状況 要介護2以上の認定率、認定率の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 認定率	① 全保険者の上位7割	(ア) 2024年1月の認定率  (イ) 2023年1月と2024年1月の 変化率						
			② 全保険者の上位5割							
			③ 全保険者の上位3割							
			④ 全保険者の上位1割							
	イ 認定率の変化率	① 全保険者の上位7割								
		② 全保険者の上位5割								
		③ 全保険者の上位3割								
		④ 全保険者の上位1割								